

観光受入環境整備事業(拡充)

令和2年度予算要求額: 54,093千円

事業目的: 増加する観光客の受入環境整備

本市は、2019年に百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録され、2020年東京オリンピック、2021年関西ワールドマスタースゲームズなどの国際的なビッグイベントを控えている。今後もさらなる観光客の増加が期待される状況にあるため、本事業ではこれに対応するべく観光来訪者の受入環境の整備を図るもの。

R2年度要求のポイント

百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録により増加が予想される来訪者対策や、観光客の利便性向上のための公衆無線LAN環境整備(Osaka Free Wi-Fi)のための予算を要求。

R2年度の主な取り組み



●【拡充】世界遺産来訪者対策事業

大仙公園エリアで来訪者が快適に楽しく滞在できる施設を整備・運営する民間事業者の誘致や、仁徳天皇陵古墳シャトルバスの運行など。

48,932千円



●Osaka Free Wi-Fi整備事業

外国人観光客をはじめとした観光客が快適にインターネットを利用するための公衆無線LAN環境(Osaka Free Wi-Fi)の整備を実施。

5,161千円